

## 令和元年度 沖縄県管理河川の大規模氾濫に関する減災対策協議会 第1回協議会

### ●開催概要

○日時：令和2年1月14日（火）14：00～16：00

○場所：沖縄県教職員共済会館八汐荘 屋良ホール

### ●議事内容

- (1) 令和元年度「沖縄県管理河川の大規模氾濫に関する減災対策協議会」について
- (2) 「沖縄県管理河川の大規模氾濫に関する減災対策協議会規約」及び「沖縄県管理河川の減災に係る取組方針」の改定について
- (3) 令和元年度減災対策協議会の取組状況
- (4) 減災対策協議会のスケジュールについて



### ●議事概要

- ・ 情報提供として、以下の内容について説明を行った。
  - ☞ 災害時における「防災分野における衛生利用」として、地球観測衛星を用いた防災に関する JAXA の取組の紹介。(国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 JAXA)
  - ☞ 「水防災意識社会」再構築に向けた緊急行動計画に基づくダムに関する取組として、異常豪雨の頻発化に備えたダムの洪水調節機能と情報の充実、国管理ダム下流の浸水想定図の策定・公表等を紹介。(沖縄総合事務局 河川課)
  - ☞ 防災業務と災害対応として、ハザードマップポータルサイト、地理院地図の情報、被災後の空中写真撮影、浸水想定図の作成、公開の取組を紹介。(国土地理院)
- ・ 平成29年度に策定した「沖縄県管理河川の減災に係る取組方針」について、策定までの流れとスケジュール、取組方針の具体的な内容（減災のための目標、目標達成に向けた3本柱、概ね5年で実施する取組）に関する説明を行い、新たな構成員を加える旨の取組方針及び規約の改定について了解を得た。
- ・ 令和元年度減災対策協議会の取組状況について、第1回幹事会（令和元年8月28日開催）、第2回幹事会（令和元年11月14日開催）の報告ならびに、各機関での取組状況の調査結果報告と取組内容の事例紹介を行い、情報共有を図った。
- ・ 今後のスケジュールとして、引き続き「概ね5年間で実施する取組」のフォローアップと、年1回の協議会、年2回の幹事会の開催を予定している。さらに次年度は、5年目を迎える令和3年に向けて、これまでの取組に対する課題抽出、新たな取組について検討していく旨を説明し、了解を得た。



## ● 令和元年度 取組内容の実施状況についての取組紹介

### (うるま市)

・防災アプリについて、今年度中に開発を予定。内容は、職員、住民用の二本柱で、職員が見る場合は、参集基準や内部の情報、住民が見る場合は、防災無線の情報が文字情報で確認できるものである。また、ワンオペレーションシステムとして、情報伝達すべてに情報が反映できる仕組みとなる。



### (沖縄市)

・「避難行動要支援者避難支援事業」の一環として、子供たちとその保護者に対して、防災意識の構築、特に自助、共助を考えるきっかけづくりを目的に二部構成のワークショップを開催。1部では、河川の氾濫の際の対応やそれ以外の災害に対する意識醸成として講義を行い、2部に身の回りにあるものを使って、防災グッズづくりを行った。



### (北谷町)

・現在、防災システムの、工事、整備を進めている。災害に対して、現場の状況や対応している職員と防災本部との連携が密に図れるものであり、災害現場の状況の写真等をシステム上に取り入れ、関係機関に提供するシステムである。また、安否確認システムも同時に導入する予定である。



### (南風原町)

・総務課をはじめ、町長、防災担当以外の各課、自治会参加の防災訓練において災害時の連絡体制の強化を図った。災害時の各人の役割を確認する目的で、各課に対応したシナリオを作成して、訓練を実施。今年度においても実施予定である。



## ● 令和元年5月 与那国島の豪雨災害に関する報告

### (与那国町)

・今回の災害時の課題として、与那国町には、常駐する消防団がないため担当職員が消防の団員となり、通常の業務として対応するのか、消防としての役割で対応するのか、分かりづらくルール作りが必要。このような場合に、職員の配置等について葛藤があり、今後ご指導いただきたい。



#### (八重山土木事務所)

・与那国島における大雨被害において、床上、床下浸水、県道擁壁、護岸の被災があり、復旧に努めているが、入札の応募がなく現在も着手できていない状況である。与那国町の業者、石垣島の業者にヒアリング調査を行い、併せて建設業協会八重山支部と意見交換を行った。引き続き情報収集し、災害復旧に向けて取り組んでいきたい。



#### ● 令和2年度 減災対策協議会スケジュールについて

##### (北谷町)

・北谷町は白比川があり、その上流側から降った雨が一気に流れて氾濫が起こるが、その原因究明等について中部土木事務所に依頼をしているが、今後の協議会の中でどのように検討していくか、気象の変化も捉えられるのであれば検討して頂きたい。



(事務局回答)：ハード的な対策は順次進めていくが、状況の変化によって、情報の共有のあり方も変えていく必要があり、中部土木事務所と町と連携しながら整理していく。協議会では全体で進めていくことを議論していきたい。

##### (渡嘉敷村)

・八重山でも災害復旧工事が落札者がいないということであるが、近年このようなケースが渡嘉敷村でもあり、県としての対策や、市町村を含め、今後どのような対策が必要かの検討会議等が予定されているのか情報提供をお願いしたい。



(事務局回答)：積算面で作業員の旅費を計上する等、工事ができる状況で取り組んでいるが、改善されない部分もあり、状況をみながら改善していきたい。落札した企業の評価を高め、インセンティブを与える等のメリットが発生する仕組みにもっていかないと、手を挙げる企業は増えないと思う。沖縄総合事務局とも連携して取り組むべき課題に対応していきたい。また、各市町村を含めた発注者連絡協議会等も活用しながら情報共有を図っていきたい。